



地域医療の現場レポート

あゆみクリニックの概要

- 所在地：埼玉県春日部市大枝400-4
 - HP：www.ayumi-clinic.com
 - 患者数：約1,500人/月
うち糖尿病患者は約3割
 - 医 師：1人
 - 看護師：常勤1人 非常勤5人
 - 栄養士：常勤3人 非常勤5人



医療法人社団げんき会 あゆみクリニック

信頼される地域の かかりつけ医を目指して

東京のベッドタウンとも言える埼玉県春日部市のあゆみクリニックは、越谷市との境界近くに位置し、内科から小児科、アレルギー科、訪問診療や訪問看護など幅広い分野で地域の医療に貢献している。子供から高齢者までさまざまな患者が来院し、特に糖尿病をはじめとした生活習慣病の治療、知識普及、予防に重点を置いている。あゆみクリニック院長・理事長の藤川万規子先生にお話を伺った。

際してはバス(表)を活用している。「バスがあれば、誰が行っても患者さんにもそれのない均一な指導ができます。リラグルチドは新しい薬で注射剤ですので、指導にあたってはバスが必要と感じて作成しました。もちろん、栄養指導の欄もあります。リラグルチドは特に速効型インスリン分泌促進薬で血糖コントロールがうまくいかず、SU薬へ移行しようかという患者に良く効くように思います。注射のハードルは、薬の特性を良く説明することで越えることができますね。迷う患者さんには『一度やってみましょう』と、もし問題があったら中止して飲み薬に戻すことができると言明すると、納得してもらえることが多いです。もちろん、なかなか踏み切れない患者さんもいますので、無理には勧めず、本人が納得するまで待ちます」とバスの利点と十分な話し合いの重要性を語った。

また、HbA1c、コレステロール値などの検査結果は迅速に出る体制を整えており、当日のデータをもとに治療にあたっている。栄養指導も繰り返し行うシステムになっている。

さらにオリジナルファイルを作成し配布している。ファイルには「血糖コントロールの目標値」「栄養指導フローチャート」「糖尿病とは」「糖尿病で怖いのは合併症です」「まずは毎日野菜350g」など、繰り返し読んでもらいたい資料がセットされ、患者教育に役立っている。ファイルはテーマカラーであるピンクとブルーでデザインされ、患者にも好評で、診察のたびに持参し、検査結果や健康診断の結果などもファイルしている患者も多く、大いに活用されている。

あゆみクラナ

あゆみクリニックには糖尿病をはじめとした生活習慣病の患者の会『あゆみクラブ』がある。これは患者同士のコミュニケーションや医師をはじめとする医療スタッフとのコミュニケーションを図るために設立され、お互いの情報交換、疑問や不安を話し合える場となっており、治療のモチベーションアップにつながっている。主な活動は食事会が年に4回。



●藤川 万規子 先生
あゆみクリニック院長・理事長)

みたいとよく言われますよ」とその理由を語った。子供の患者も多いので、子供の目線にも十分配慮している。

歩く会5回以上、料理教室14回、その他日帰り旅行など、たくさんのイベントが開催されている。

「あゆみクラブを通して患者さん同士がとても仲良くなって、情報交換も活発に行っています。人とのつながりによって、治療への意欲もわいてくるようで、ドロップアウトはほとんどありませんね」とその効果について語った。

白衣を着ないわけ

ここでは誰も白衣を着ていない。白衣の代わりにクリニックオリジナルTシャツとエプロン姿である。「白衣だと患者さんによっては、威圧感を感じてしまうと思うのです。その点、Tシャツとエプロンだとその心配はありません。保育園

表 外来ビクトーザ導入パス(医療従事者用)

外来ビクターザ導入バス(医療従事者用)					医療法人社団けいきん会 あゆみクリニック	
ID:					担当医師: 1ページ	
患者様:氏名						
達成目標 ①ビクターザ自己注射とその管理ができる。②低血糖、重篤な胃腸障害がない。						
月日	初回: / ()			2回目: / ()		
注射種類: ビクターザ 投与量 0.3mg×1回/投与時間帯				投与量変更:□有 □無		投与量 (mg)
指導の対象	□患者 □家族 () □その他 ()			□患者 □家族 () □その他 ()		
【SMBG操作方法】		実施	評価	実施	評価	<評価点数> 理解している (2) アドバイス必要 (1) 理解困難 (0)
<input type="checkbox"/> 必要な物品の確認 <input type="checkbox"/> 採血部位の組立て <input type="checkbox"/> センサーの取扱い方針と血液の点着 <input type="checkbox"/> 後片付けの方針 <input type="checkbox"/> データの記載方法						
①ビクターザについて説明 □さあとくターザはじめよう		評価	【注射操作確認】		評価	
②ビクターザ注射操作 □ビクターザ資料(ビクターザを正しく使うために Victoza Diary、カルチャックシート) □必要な物品確認(ビクターザ本体・針・アルコール綿・鋏剝離)			<input type="checkbox"/> 必要な物品の確認 <input type="checkbox"/> 注射の準備 <input type="checkbox"/> 空打ち <input type="checkbox"/> 単位設定 <input type="checkbox"/> 注射の仕方 <input type="checkbox"/> 注射部位を毎回変えてるか確認 <input type="checkbox"/> 指示事項の確認 <input type="checkbox"/> 注射の保管法規			
□注射の準備 <input type="checkbox"/> 空打ち			【注入器と針の管理】 <input type="checkbox"/> 使用済みの注射針等の廃棄法理解			
□単位の設定 <input type="checkbox"/> 単位の設定			【低血糖について】 <input type="checkbox"/> 原因、症状、対処法の理解 <input type="checkbox"/> 低血糖用ブドウ糖の携帯			
□注射の仕方 <input type="checkbox"/> 注射の仕方			【自己管理方法】 <input type="checkbox"/> 検査データの見方 <input type="checkbox"/> 糖尿病指揮手帳の利用方法 <input type="checkbox"/> 再診時の準備事項 <input type="checkbox"/> 診察時の血糖測定器の受取り方 <input type="checkbox"/> 診察後・処方箋の内容			
□注射後の対応 <input type="checkbox"/> 保管 <input type="checkbox"/> 保管(未使用: 冷蔵庫保存、使用: 室温保存)			【副作用の有無】 <input type="checkbox"/> 便秘 <input type="checkbox"/> 下痢 (回数:) <input type="checkbox"/> 恶心 <input type="checkbox"/> 嘔吐 (回数:) <input type="checkbox"/> 腹部膨満感 <input type="checkbox"/> 低血糖			
□注射液の使用、実施、時間 <input type="checkbox"/> 注射部位の説明(瓶詰)						
【ダイヤルとの管理】 <input type="checkbox"/> 注射器・針の使用前、使用中の保管法 <input type="checkbox"/> 使用済みの注射器や針廃棄方法 [低血糖] <input type="checkbox"/> 原因、症状、対処方法						
□低血糖用ブドウ糖の携帯						
血糖値	□食前 (時) () mg/dL	□食後 時間	体重 () Kg	□食前 (時) () mg/dL	□食後 時間	体重 () Kg
特記事項						
伝達事項						
バリアンス	□有 □無	/次回来院日: 月 日	□有 □無	/次回来院日: 月 日		
サイン	Ns. / Dr.				□来院 □電話 Ns. / Dr.	
栄養指導	□指示量 () kcal	□ ()	□無	□有		
記載日時:	月 日	サイン:	記載日時: 月 日 サイン:			
連絡先:□本人 □家族 () □その他 ()	Tel番号: ① () - - - ② () - - -					
つながりやすい時間:						